

第2学年国語科学習指導案

日 時 平成22年6月24日(木)6校時
児 童 男子7名 女子6名 計13名
指導者 教諭 熊林 倫子

- 1 単元名 本と友だちになろう
教材名 スイミー（文学的文章）

2 単元について

(1) 児童について

児童は、これまでに「くじらぐも」や「たぬきの糸車」で、登場人物の様子を想像したり、声に出して読んだりして物語を楽しむ学習をしてきている。また、「ふきのとう」では、吹き出しを書いたり、動作化を取り入れた役割読みをしたりしながら場面の様子想像して読む学習をした。いつも本を身近に置き、物語にも親しんできている。

しかし、まだ拾い読みで言葉のまとまりとして文章をとらえられない児童もみられるなど、読む力には個人差が大きい。文や言葉に着目して様子や気持ちを読み取る力はまだ不十分である。

そこで本単元では、主人公に同化しながら読み進めることで、挿絵や本文の言葉を手がかりに想像する力を高めていきたい。ここで、身に付けさせたい読みの力とは「C読むこと」(2)の①「ウ場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと」ができる力である。また、物語を楽しく想像豊かに読み進める中で育つ力を、他の様々な絵本を読もうとする意欲につなげていきたい。

(2) 教材について

教材文「スイミー」は、楽しくファンタジックで、しかもドラマチックなお話である。知恵と勇気をもって困難に立ち向かうスイミーは、児童にとってあこがれであり、スイミーの心情を自分の気持ちに重ねて読んでいくことができると思われる。また、叙述が詩的であり、体言止め・倒置法・比喻などが駆使されている。挿絵とともにこれらの語句に着目させることにより、海の中の情景やスイミーの心情を豊かに想像して読み取ることができると思われる。本教材は、場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像をひろげながら読むことができる力を育てるのに適した教材であると考えられる。

(3) 指導について

本単元では、物語を楽しく想像豊かに読むことで、他の様々な絵本を読もうとする意欲を育て、読書の幅を広げること目標とする。教材文「スイミー」を楽しく想像豊かに読む学習が、後半の「本のしょうかいパンフレット」作りの原動力となり、他の様々なお話や絵本を読むきっかけになるようにしていきたい。また、「本のしょうかいパンフレット」作りでは、本を読んで好きなところを見つけ、友だちに紹介するためにどんなことを伝えるべきか考えなくてはならない。自分のために読むだけでなく、友だちに紹介することによって自分の作品に対する思いを深めることにつながり、本を読む喜びを味わうことができると考える。また、紹介し合うことによってお互いの思いを分かち合ったり、感じ方や考え方を認め合ったりして読みの世界を広げることにつなげていきたい。

指導にあたって、第一次では、レオ＝レオニの作品のブックトークを行い、レオ＝レオニの絵本に興味や関心をもたせていく。また、「スイミー」という題名に注目させ挿絵をみたり、リード文からスイミーになりきって読み進めていくことを意識させる。そして、学習の最後に「本のしょうかいパンフレット」を作るため、学習したことをいかして「スイミー」の紹介カードを書くこと、さらにレオ＝レオニの作品の中から本を選び、紹介カードを書くことを確認し、これからの学習への意欲を高めたい。

第二次では、それぞれの場面の様子について読み取っていく。その際、挿絵や会話文、様子の分かる言葉に注目させていく。そして、視写したり工夫して音読したりすることで読みを深めさせていく。また、吹き出しを書くことにより、登場人物との同化を図り、想像を広げながら読み取っていきたい。

第三次では、今まで学習したことを思い出しながら、自分の好きな場面を選び、「スイミー」の紹介カードを書く。その際、選んだ場面のよいと思う表現や吹き出しに書いた表現を書き抜かせるようにしたい。そして、どうしてその場面を選んだのか理由も書くようにする。さらに、それを友だちと紹介し合い、次に書く紹介カードの参考になるようにさせる。その後、レオ＝レオニの作品や関連する本の中から友だちに紹介したい本を選び、同じように紹介カードを書いていく。それを友だちと紹介し合い、本についての興味・関心を高め、読書の幅を広げていけるようにしたい。

3 単元の目標

○やさしい読み物に興味をもって読み、感想をもって紹介しようとしている。

(関心・意欲・態度)

○場面の様子や登場人物の行動などについて、想像を広げながら読むことができる。(読むこと)

○レオ＝レオニの本や他の絵本などに興味をもって読むことができる。(読むこと)

○比喩表現、体言止め、倒置法などの表し方について理解している。

(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

4 単元の指導計画と評価規準 (14 時間)

| 次 | 指導目標 | 時 | 主な学習活動 | 指導事項と言語活動 | 評価規準 |
|---------|--------------------------|--------|--|--|--|
| 第一 次 | ・教材文を読み、学習の見通しをもつことができる。 | 1 2 | ○ブックトークを聞く。 ○レオ＝レオニやその他の絵本から紹介したい本を選んで「本のしょうかいパンフレット」を作り、友達に紹介するという学習のめあてを確認する。 ○「スイミー」という題名に関心を持ち、全文を音読する。 ○初発の感想を書き、交流する。 | 読カ 読む目的を意識して本や文章を選び、読書活動に関する見通しをもつ。 ブックトークを聞く 読オ 自分の思いや考えをまとめ、発表し合う。 初発の感想を交流する | 読みの課題をはつきりさせ、見通しをもっている。(関心・意欲・態度) 教材文を進んで読み、驚いたことや気付いたことなどについて、自分の感想を書いている。 (関心・意欲・態度) |

| | | | | | |
|-------------|--|-------------|--|--|--|
| 第 二 次 | ・物語の概要をとらえることができる。 | 3 | ○視点（登場人物，中心人物，時，場所，出来事）にそって物語のあらすじをとらえる。 | 読ウ 各場面の様子の変化をとらえ，豊かに想像して読む。 挿絵と文を照らし合わせながらあらすじをとらえる | 視点にそってあらすじをとらえている。 (読むこと) |
| | ・スイミーの特徴や楽しく暮らす様子を読み取ることができる。 | 4 | ○スイミーがほかの魚たちと違うところを見つけ，特徴をつかむ。 ○兄弟たちと楽しく暮らすスイミーの様子を読み取る。 ○スイミーの自己紹介を吹き出しに書く。 | 読ウ 中心となる登場人物の行動が変化していく様子を豊かに想像しながら読む。 様子を表す言葉をとらえる 吹き出しに書く | スイミーの特徴をとらえている。 (読むこと) |
| | ・恐ろしいまぐろの様子や一人ぼっちになったスイミーの様子を読み取ることができる。 | 5 本 時 | ○まぐろの様子を読み取る。 ○一人になってしまったスイミーの気持ちを吹き出しに書く。 ○スイミーの様子を想像しながら音読する。 | 読ウ 中心となる登場人物の行動が変化していく様子を豊かに想像しながら読む。 様子を表す言葉をとらえる 吹き出しに書く | 一人ぼっちになったスイミーの様子を想像して吹き出しに書いたり，発表したりしている。 (読むこと) |
| | ・元気を取り戻していくスイミーの様子を読み取ることができる。 | 6 | ○海の中の様子を読み取る。 ○海の中ですばらしいものやおもしろいものを見たスイミーの気持ちを吹き出しに書く。 ○スイミーの様子の変化を想像しながら音読する。 | 読ウ 中心となる登場人物の行動が変化していく様子を豊かに想像しながら読む。 様子を表す言葉をとらえる 吹き出しに書く | 元気を取り戻していくスイミーの様子を想像して吹き出しを書いたり，発表したりしている。 (読むこと) |
| | ・赤い魚たちと出会ったスイミーの様子を読み取ることができる。 ・スイミーが考えた作戦について読み取ることができる。 | 7 | ○赤い魚たちと出会ったスイミーの様子を読み取る。 ○スイミーの会話文の続きを吹き出しに書く。 ○スイミーが考えた作戦について考える。 ○スイミーの様子を想像しながら音読する。 | 読ウ 中心となる登場人物の行動が変化していく様子を豊かに想像しながら読む。 様子を表す言葉をとらえる 吹き出しに書く 役割読みをする | 赤い魚たちと出会ったスイミーの様子を想像して吹き出しを書いたり，発表したりしている。 (読むこと) |
| | ・大きな魚を追い出したスイミー達の様子を読み取ることができる。 | 8 | ○大きな魚を追いだした後の会話を吹き出しに書く。 ○スイミーの様子を想像しながら音読する。 | 読ウ 中心となる登場人物の行動が変化していく様子を豊かに想像しながら読む。 様子を表す言葉をとらえる 吹き出しに書く 全文の役割読みをする | 大きな魚を追い出したスイミーの様子を想像して吹き出しを書いたり，発表したりしている。 (読むこと) |

| | | | | | |
|-----|-----------------------------|----------------|---|---|---------------------------------------|
| 第三次 | ・本の紹介カードを書き、友だちに紹介することができる。 | 9 | ○スイミーの好きな場面を選び、紹介カードを書く。 | 読エ 理解を深めたり、自分の考えをまとめたりするために書き抜く。 思いや考えを話したり書いたりするために必要となる言葉や文を書き抜く | 好きな場面について、友だちに分かるように紹介している。 (読むこと) |
| | | 10 11 | ○紹介し合い、友だちのよいところを見つけ、感想を交流する。 | | |
| | | 12 13 14 | ○レオ＝レオニやその他の本から紹介したい本を選んで紹介カードを書く。 ○紹介カードをもとに、お互いに好きな場面、面白い場面を紹介し合う。 ○紹介カードをまとめて「本のしょうかいパンフレット」を作る。 | 読オ 本や文章の内容や構成を自分がすでにもっている知識や経験、読書体験などと結び付けて解釈し、想像を広げたり理解を深めたりする。 読んだ本について好きなところなどを紹介する | 必要な項目を落とさずに友だちに紹介している。 (読むこと) |

5 本時の指導(5/14時間)

(1) 目標

恐ろしいまぐろの様子や一人ぼっちになったスイミーの様子を読み取ることができる。

(読むこと)

(2) 具体の評価規準

| A | B | 指導の手立て |
|--|---|------------------------------|
| 一人ぼっちになったスイミーの様子を挿絵や文からとらえ、豊かに想像して吹き出しに書いたり、発表したりしている。 | 一人ぼっちになったスイミーの様子を想像して吹き出しに書いたり、発表したりしている。 | 前時のスイミーの様子を想起させ、比べながら一緒に考える。 |

(3) 本時の指導事項

本時は、中心となる登場人物スイミーの様子を読み取ることがをねらいとする。まぐろの様子やまぐろの出現による場面の様子の変化を読み取ることにより、一人ぼっちになってしまったスイミーの様子を豊かに想像しながら読んでいきたい。

まず、挿絵や様子を表す言葉をとらえることによりおそろしいまぐろの様子を想像しながら読み取っていく。その後、スイミーが言ったであろうことを吹き出しに書かせることにより、スイミーと同化し、スイミーの様子を想像させていく。そして、それを第三次の紹介カードを書く活動で活用できるようにしたい。

(4) 展開

| 段階 | 学習活動と主な発問・予想される児童の反応 発問 (○) 児童の反応 (・) | 評価・留意事項 評価 (*) 留意事項 (・) |
|----------------|---|---|
| つかむ 5分 | 1 学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">まぐろがきたときのスイミーのようすを考えよう。</div> 2 課題解決の見通しを持つ。 ○どうしたら様子を読み取ることができるでしょうか。 ・会話文を見つける。 ・様子が分かる言葉を見つける。 | ・学習課題を読み、まぐろやスイミーの様子を様子が分かる言葉に着目しながら読み取っていくことを確かめる。 ・本時の学習場面を確認する。 |
| さぐる 20分 | 3 まぐろの様子を読み取る。 ○どんなまぐろがきたのでしょうか。 ・おそろしいまぐろ。 ・おなかをすかせたまぐろ。 ○どこから分かりますか。 ・おなかをすかせて。 ・すごいはやさで。 ・ミサイルみたいに。 ・つっこんできた。 ・一口で。 ・一ぴきのこらずのみこんだ。 ○まぐろのおそろしい様子が分かるように音読しましょう。 ○まぐろがきたとき、スイミーはどんなことを考えたでしょう。吹き出しに書いてみましょう。 ・こわいよう。たすけて。 ・大きなまぐろだな。たいへんだ。 ・みんな、そっちににげちゃだめだよ。 ・ぼくのほかに助かった人はいないのかな。 | ・まぐろの様子が分かる言葉をとらえさせる。 ・声の大きさ、読む速さなどで場面の様子が伝わることを想起させる。 ・まぐろの様子から、スイミーがどんな気持ちだったのかも想像させていく。 *スイミーの様子を想像して吹き出しに書いたり、発表したりしている。 |
| ふかめる | 4 スイミーの様子を読み取る。 ○そのとき赤い魚たちとスイミーはどうなりましたか。 ・赤い魚たち→一口でのみこまれる ・スイミー→にげて助かる。 ○スイミーの様子が分かる言葉を見つけましょう。 ・およいだ。 ・こわかった。 ・さびしかった。 ・とてもかなしかった。 ○ひとりで泳いでいるスイミーはどんなことを言ったのか吹き出しに | ・スイミーが一人きりになってしまったことをとらえさせる。 ・吹き出しに書かせることで自分とス |

| | | |
|-----------|---|---|
| 15分 | <p>書いてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくはひとりぼっちになってしまった。さびしいよ。 ・もう一度きょうだいたちに会いたいな。 ・きょうだいたちもたすけてあげたかった。 <p>○ひとりぼっちで泳いでいるスイミーの様子が分かるように音読しましょう。</p> | <p>イミーを同化させて考えイメージを膨らませていく。</p> <p>*スイミーの様子を想像して吹き出しに書いたり，発表したりしている。</p> <p>・どのように工夫して読んだらいいか音読の仕方を考えさせる。</p> |
| まとめ 5分 | <p>5 本時の学習をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吹き出しに書いた内容に線を引きながら確かめる。 <p>6 今日の学習について振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今日の学習でどんなことをがんばりましたか。 ○今日の学習でどんなところがおもしろかったですか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返り，吹き出しを読むことでスイミーの様子を確認させる。 ・頑張ったことや，達成感を中心に感想を聞く。 ・読み取ることの手立てについて話す児童がいたら，適宜とり上げる。 |

(5) 板書計画

吹き出し

スイミーのようす
こわかった。
さびしかった
とてもかなしかった。

にげたのはスイミーだけ

吹き出し

おそろしいまぐろ
おなかをすかせて
すごいはやさで
ミサイルみたいに
一口で
一びきのこらずのみこんだ

スイミー
まぐろがきたときのスイミーのようすを
考えよう。

レオレオニ